

# 道の駅めぐみ白山での活動 ～白山手取川ジオパークの世界ジオパーク認定を受けて～

団体名 ● 道の駅めぐみ白山盛り上げ隊（新ゼミナール）

代表者名 ● 縄手晴渡（経済学部経済学科 3 年）

## はじめに(背景・目的・目標)

白山手取川ジオパークが2023年5月にユネスコ世界ジオパークに認定された。持続可能な地域社会の実現を目指すジオパークの目標は、SDGs と共通している。ジオパーク活動にも SDGs 達成にむけた貢献が求められ、白山市では SDGs に貢献する様々な取り組みが行われている。地域資源の集積及び情報発信拠点としての道の駅の機能に着目し、国道8号線沿い白山市宮丸地内に立地する「道の駅めぐみ白山」(以下、めぐみ白山)にて、白山手取川ジオパークの SDGs についての認知度向上と道の駅に立ち寄った人の次の目的地として提案することにより、白山手取川ジオパークファンを増やし、関係人口を拡大すること、そして観光客や市民に向けて、白山手取川ジオパークの自然環境や文化・産業を守ろうとする意識や愛着を醸成することを目的として本活動を行った。

## 活動内容

下記の2項目を中心に活動した。

### ①地元特産品の SDGs 商品としての情報発信活動

めぐみ白山の地場産品売場で販売されている地元特産品の特徴を学生が調査し、SDGs の17項目の目標と紐づけ、ふぐの子糠漬け、猪肉、白山菊酒ゼリーなど5品目のオリジナル POP を作成した。

### ②白山手取川ジオパーク紹介動画の作成

道の駅を訪れた方々に白山手取川ジオパークへの興味を持ってもらうための観光スポット紹介動画を作成した。白山比咩神社、手取溪谷、山立会の木滑なめこ工場とやまだち牧場にて動画撮影を行った。YouTube にアップするとともに、動画の QR コードをポップに掲示し、読み込めばそれぞれの紹介動画を視聴できるようにした。



A1サイズポップ



ポップの掲示



動画撮影

## 成果、結果の考察

めぐみ白山の地場産品売場に「白山手取川ジオパーク・SDGs 商品マップ」という A1サイズのポップを掲示した。紹介動画の総再生回数は3月時点で去年の12月14日から約230回再生で、訪れた人にポップを見てもらい、ジオパークや SDGs 商品についての魅力を感じてもらうことができた。また、2月10日に中部地方 ESD 活動支援センター（環境省 EPO 中部）主催「2023年度 SDGs 学生サミット」に参加し、今回の活動についての発表を行った。

## 今後の課題、展望

今後の課題として、引き続き、今回撮影した以外の白山手取川ジオパークの観光スポットでも撮影を行い、紹介動画を増やしていきたい。展望として、北陸新幹線白山車両基地横に設置される「トレインパーク白山」とめぐみ白山とを連携させた活動に取り組んでいきたい。